

ラグビーワールドカップ2019™に関わる都の主な取組について

(令和元年6月26日現在)

分類	事項		頁番号
大会運営	1	会場運営計画	2
	2	ボランティア	
	3	多言語対応	
輸送	4	交通輸送	3
	5	障害者対応	
セキュリティ・医療	6	警備	
	7	医療救護	
気運醸成	8	大会に向けた盛り上げ	4
ファンゾーン	9	多摩会場	
	10	区部会場	
連携	11	公認チームキャンプ地	5
	12	観戦招待	

	事項	概要
大会運営		
1	会場運営計画	<p>都と組織委員会が協議し、平成30年11月に会場運営計画を更新</p> <p>【会場配置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○競技場 <ul style="list-style-type: none"> 東京スタジアム 本体芝フィールド ○ホスピタリティ・スペース <ul style="list-style-type: none"> 東京スタジアム メインスタンド側レセプションルーム及び特別観覧室、バックスタンド側諸室 武蔵野の森総合スポーツプラザ メインアリーナ及びサブアリーナ ○スポンサー活動エリア <ul style="list-style-type: none"> 東京スタジアム 東側補助競技場 <p>【会場整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○芝フィールド <ul style="list-style-type: none"> 8月下旬から9月上旬にハイブリッド芝を整備 ○仮設設備 <ul style="list-style-type: none"> 6月上旬から9月上旬に競技用照明、メディア席等の仮設設備を順次整備
2	ボランティア	<p>大会期間中、東京会場では約2,400人のボランティア「TEAM NO-SIDE」が活動</p> <p>【大会時の運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○組織委員会が運営主体のボランティア <ul style="list-style-type: none"> 主に会場内で会場運営サポートなどを実施 ○東京都が運営主体のボランティア <ul style="list-style-type: none"> 最寄りの鉄道駅等における会場への案内、主要アクセス拠点での観光・交通案内、ファンゾーンでの運営サポートを実施 <p><主な活動場所：期間></p> <ul style="list-style-type: none"> ・最寄りの鉄道駅（飛田給駅、西調布駅、多磨駅）及び会場周辺：試合日 ・シャトルバス乗降駅（調布駅、多磨駅、武蔵境駅、狛江駅、武蔵小金井駅）：試合日 ・主要アクセス拠点（新宿駅、東京駅、品川駅、羽田空港（国内線ターミナル））：大会期間中 ・ファンゾーン（多摩会場、区部会場）：各ファンゾーン開催日 <p>【大会までのスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○募集：平成30年4月23日～7月18日 ○インタビュー：平成30年12月14日～12月18日 ○研修 <ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション：平成31年3月10日 リーダートレーニング（リーダー研修）：令和元年6月7日～6月9日 ロールトレーニング（役割別研修）：令和元年7月上旬（予定） ベニュートレーニング（配置場所別研修）：令和元年8月下旬～9月（予定）
3	多言語対応	<p>海外からの観客にも安心して来場し大会を楽しんでいただけるよう多言語対応の取組を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○案内サイン：組織委員会が策定したガイドラインに従い、日本語・英語・ピクトグラムを中心に配置 <ul style="list-style-type: none"> 配置場所：会場内、ラストマイル、ファンゾーン 等 ○駅構内・車内アナウンス：日本語及び英語 ○交通広報（アクセス案内マップ等）：日英併記又は日本語・英語版 ○ボランティア：英語をはじめ外国語スキルを有する方々が空港、駅、シャトルバス乗降場等で活動

	事項	概要
輸送		
4	交通輸送	<p>交通輸送実施計画（平成31年3月策定）に基づき、観客の円滑な来退場を確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○シャトルバス輸送 入場時：調布駅・多磨駅・武蔵境駅・狛江駅から10～25分間隔 退場時：上記4駅に武蔵小金井駅も加え、数分程度の短い間隔 ○歩行者誘導：飛田給駅・西調布駅・多磨駅とスタジアム間の動線上に大会仕様の案内サインを配置 ○鉄道輸送：飛田給駅では試合開始4時間前から終了1.5時間後頃までに特急・準特急の臨時停車を実施 ○自動車：特別に許可する者（車椅子利用者等）以外は公共交通機関の利用を徹底、交通規制の実施 ○タクシー：乗降場は飛田給駅前と多磨駅前に設定 ○二輪車・自転車：約1,000台分の駐輪場を確保 ○交通広報：事前に観客に対してアクセスの案内や時間分散・ルート分散の呼びかけを行うほか、周辺住民等に対して交通規制・迂回路案内、混雑注意喚起を周知。また、当日は主要アクセス拠点（新宿駅・東京駅・品川駅等）に案内ブースを設置
5	障害者対応	<p>障害のある人もない人も誰もが安心して来退場できる環境を確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多磨駅については鉄道・タクシーとシャトルバスとを接続 ○会場内に都が指定した車両の乗り場の設置 ○飛田給駅・多磨駅・周辺道路等では、各機関によりバリアフリー等の整備を実施 （例：飛田給駅エレベータ増設、多磨駅バリアフリー通路の臨時的対応） ○飛田給駅・西調布駅・多磨駅周辺には障害者補助を行うスタッフを配置
セキュリティ・医療		
6	警備	<p>試合会場周辺及び最寄り駅から試合会場までの観客動線等の安全と円滑な移動を確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地点ごとの混雑状況の見込みを踏まえ、効果的な雑踏警備を実施 ○警視庁と緊密に連携した交通規制、案内誘導により円滑な移動を確保 ○モバイルカメラを用いて現場状況を本部で迅速に把握し、事案に対応 ○パイプ柵等により動線分離や乱横断防止を行い、事故を未然に防止 ○外国語対応が可能な警備員を配置し、海外からの来場者に適切に対応 ○巡回による警戒、車両突入防止資機材の設置等によりテロを防止
7	医療救護	<p>試合会場周辺及び最寄り駅から試合会場までの観客動線等における傷病者等を適切に救護</p> <ul style="list-style-type: none"> ○武蔵野の森総合スポーツプラザ内に救護スペースを設置 ○翻訳アプリ等を活用し、海外からの来場者の症状を的確に把握 ○東京消防庁現地警戒本部と連携し、迅速な救急搬送を実施

	事項	概要
気運醸成		
8	大会に向けた盛り上げ	<p>大会に向けた気運醸成を図るため、以下の事業を実施</p> <p>【主なイベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大会開幕の節目にあわせてイベントを実施 1000日前（平成28年12月24日）、2年前（平成29年9月18日）、500日前（平成30年5月6日）、1年前（平成30年9月23日）、100日前（令和元年6月16日） ○ラグビーテストマッチにあわせてパブリックビューイングイベントを実施 平成28年6月18日（汐留）、平成28年6月25日（東京スタジアム周辺）、平成28年11月5日（府中）、平成29年6月24日（東京スタジアム周辺）、平成29年11月4日（日比谷）、平成30年6月16日（秋葉原）、平成30年6月23日（調布）、平成30年11月3日（調布・有楽町） ※今後実施予定 令和元年7月27日（町田）、令和元年8月3日（新宿）、令和元年9月6日（調整中） <p>【都市装飾】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共交通機関と連携したラッピング車両の運行（平成30年9月～。随時拡大） ○電線類地中化の地上機器装飾（平成30年9月～。随時拡大） ○区市町村庁舎への懸垂幕及び壁面シートの掲出（平成30年12月～） ○東京国際空港（羽田空港）の装飾（令和元年5月～） ○会場周辺、ラストマイル等における街灯フラッグ、横断幕等の掲出（令和元年8月～） ○補助金を活用した区市町村による都市装飾の支援 <p>【区市町村連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○補助金を活用した大会時における区市町村によるパブリックビューイングイベントの支援
ファンゾーン		
9	多摩会場	<p>多摩会場においては、以下のとおりファンゾーンを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○会場：調布駅前広場・調布市グリーンホール ※調布市グリーンホール（大ホール）が利用できない日は、調布市グリーンホール（小ホール）、調布市文化会館たづくり大会議場、調布クレストンホテル宴会場のいずれかを活用 ○開催日：東京スタジアムでの試合日及び大会期間中の土・日曜日 ＜15日間：9月20日、9月21日、9月22日、9月28日、9月29日、10月5日、10月6日、10月12日、10月13日、10月19日、10月20日、10月26日、10月27日、11月1日、11月2日＞ ※9月23日、10月4日、10月11日は、パブリックビューイングイベントを実施 ○内容：パブリックビューイング、スポンサーブース、公式グッズ販売、ケータリング、ステージイベント、ラグビー体験、交流エリア ○運営：一部エリアにガードフェンスを設置。入場時に手荷物検査を実施し、危険物等の持ち込みを排除
10	区部会場	<p>区部会場においては、以下のとおりファンゾーンを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○会場：東京スポーツスクエア（有楽町） ※周辺施設等と連携し周辺エリアにおいても盛り上げを実施 ○開催日：東京スタジアムでの試合日及び大会期間中の土・日曜日 ＜15日間：多摩会場と同日＞ 上記以外の試合日（パブリックビューイングを中心とした開催） ＜11日間：9月23日、9月24日、9月25日、9月26日、9月30日、10月2日、10月3日、10月4日、10月8日、10月9日、10月11日＞ ※その他の非試合日についても公式グッズ販売やケータリングを実施予定 ○内容：パブリックビューイング、スポンサーブース、公式グッズ販売、ケータリング、ステージイベント、ラグビー体験、交流エリア ○運営：入場時に手荷物検査を実施し、危険物等の持ち込みを排除

	事項	概要
連携		
11	公認チームキャンプ地	<p>大会期間中に出場チームが練習及び調整を行う公認チームキャンプ地について組織委員会において以下のとおり決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ○立候補した都内自治体 武蔵野市：ロシア 府中市：イングランド、フランス、決勝トーナメント出場チーム 町田市：ナミビア ○組織委員会が独自に追加確保したもの 東京都A：スコットランド、フランス 東京都B：日本、ウェールズ、アルゼンチン、オーストラリア、決勝トーナメント出場チーム 東京都C：ニュージーランド、日本、オーストラリア、イングランド、決勝トーナメント出場チーム <p>※セキュリティ確保の観点から施設の名称や滞在期間については非公表</p>
12	観戦招待	<p>ラグビーの振興と競技力向上を目的として、世界トップレベルの試合に都内と被災地のジュニアラグビー選手を招待</p> <p>【都内ジュニアラグビー選手の招待】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対象：東京都ラグビーフットボール協会登録の中学生 ○試合：東京スタジアムで実施するプール戦のうち1試合 <p>【被災地（宮城県・福島県）ジュニアラグビー選手の招待】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対象：宮城県又は福島県ラグビーフットボール協会登録の小学校高学年、中学生及び保護者 ○試合：東京スタジアムで実施するプール戦のうち1試合 ○その他：被災地のジュニア選手及び都内のジュニア選手と合同練習などの交流を実施